

令和5年度 第1回 清瀬市環境審議会 会議録（要旨）

日程：令和5年8月25日（金）

時間：午後2時から午後4時

場所：市役所 3階 会見室

出席委員：江口委員、服部委員、黒瀬委員、松本委員、村野委員
宮澤委員、福山委員、大槻委員、小川委員

事務局：高見澤 市民環境部長、綾 環境課長、木村 水と緑と公園課長、
野中 環境政策係長、山越

〈会議次第〉

1 開 会

- (1) 新任委員紹介
- (2) 事務局紹介

2 議 題

- (1) 清瀬市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）について
- (2) 令和4年度清瀬市温室効果ガス排出量報告について
- (3) 第二次環境基本計画実行計画の実施状況について
- (4) その他

〈配布資料〉

- ・資料1 清瀬市環境審議会委員名簿
- ・資料2 清瀬市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）資料
- ・資料3 令和4年度清瀬市温室効果ガス排出量調査結果報告書
- ・資料4 第二次清瀬市環境基本計画実行計画 令和4年度実施状況結果
- ・別紙1 令和4年度エネルギー活動量集計表
- ・別紙2 令和4年度温室効果ガス排出集計表
- ・別紙3 昨年度比エネルギー活動量の増減が大きい施設
- ・別紙4 昨年度比排出量増減が大きい施設

《議事内容》

1 開会

3名の新任委員による自己紹介

綾課長、山越が今年度より異動のため、自己紹介

2 議題

(1) 清瀬市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）について

資料

清瀬市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）資料

～事務局より清瀬市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）について説明～

《以下、意見及び質疑》

【委員】

38.3%の削減目標であるが、都の目標では2030年に50%とあり、約10%の乖離がある。2050年度に実質ゼロを目指すうえで、今後が厳しくなると思うがいかがか。

【事務局】

国はエネルギー事業者にもエネルギーの脱炭素化を要請しており、今後、技術革新が加速すると見込まれている。そのため、後年になる程、電力等のクリーン化が進むと想定しており、2050年までの後年にかけて大きく伸びしろがあるということでこのようにしている。

【委員】

感想になってしまうが、38.3%の削減は個人的には高い目標だと思う。

(2) 令和4年度清瀬市温室効果ガス排出量報告について

資料

資料3 令和4年度清瀬市温室効果ガス排出量調査結果報告書

別紙1 令和4年度エネルギー活動量集計表

別紙2 令和4年度温室効果ガス排出集計表

別紙3 昨年度比エネルギー活動量の増減が大きい施設

別紙4 昨年度比排出量増減が大きい施設

～事務局より令和4年度清瀬市温室効果ガス排出量報告について説明～

《以下、意見及び質疑》

【委員】

旧健康センター一分が今回工事のため、含まれていないということは、次年度

その分、結果として増えてしまうのか。

【事務局】

そうである。ただ、他にも取り組みを行うことで、純粹に増えるということは抑えていきたい。

【委員】

清瀬市は「今後の清瀬市温室効果ガス排出量の削減に向けて」に記載のある内容に取り組んでいくのか。

【事務局】

おっしゃる通り、ここに記載の4項目を中心として総合的に進めていく。

【委員】

実際にやっていくことと目標は何か。この資料からでは何をやっていくかが分からない。施策に対してのどのような効果を見込んでいるか分からない。

【委員】

わかりやすいのは、「AをやるとBを達成できた」というような言い方である。目標が出ていないし、将来の目標が分かずらい。

【委員】

目標を明確にしてほしい。今は「電力業者を変えたから目標を半分達成した。」というような言い方であるが、残りの半分をどうやって下げるのか。それが大切だと思う。目標がないから、知恵が出ない。

【委員】

電気の適正使用が見えにくくなっている。目標に対して、数値が見えてくることが大事である。令和3年度比較だけでなく、コロナ前、コロナ後で出しているところもあるので、参考にしてほしい。その比較が必要である。

【事務局】

皆さまから出た意見を参考に今後の計画策定の参考にさせていただく。

(3) 第二次環境基本計画実行計画の実施状況について

資料

資料4 第二次清瀬市環境基本計画実行計画 令和4年度実施状況結果

～事務局より第二次環境基本計画実行計画の実施状況について説明～

《以下、意見及び質疑》

【委員】

番号2の目標を達成するためには、53の取組の内どれに該当しているのか？

【事務局】

関連する取組は、番号3である。

【委員】

それがよくわからない。これは何を達成するためにやっているか分からない。

【委員】

以前、委員に配布した環境基本計画実行計画に 5 つの環境の目標について記載があり、それを達成するために行っている。

【委員】

この目標が何を指し、なぜ達成できなかったのか、資料 4 だけでは全く分からない。

【事務局】

次の環境基本計画実行計画の報告資料には、実行計画の 5 つの目標のどれに該当するかを記載する。

【委員】

ごみの数量についての記載は番号 6 に記載があるだけか。ごみの種類ごとに記載するべきではないのか。

【事務局】

ご指摘いただいた内容は毎年 2 月 1 5 日号の市報に掲載しているが、ご意見として頂戴する。

【委員】

「緑を増やす」という項目を増やしてほしい。

【事務局】

「緑を増やす」ことに関連する項目は番号 14、16、17、19、22 番が該当し、推進しているが、ご意見として頂戴する。

【委員】

萌芽更新を行い、林に戻るには何年かかるのか。

【事務局】

大きな雑木林になるには 20 年程度かかるが、7、8 年で雑木林の形になる。ただ、更新後すぐに手入れ等の管理が必要になる。

【委員】

緑の保存は CO2 吸収の一助になっているのか。

【事務局】

なっている。

【委員】

市で緑地の公有地化をしているが、管理に手間と費用がかかる。管理が大事であるので、ボランティア等を活用してうまく回してほしい。

【事務局】

適正に管理を続けたい。

(4) その他

～事務局より今後の会議日程等について説明～

《以下、意見及び質疑》

【委員】

資料に関しては令和3年度と令和4年度の比較表が出ているが、来年度は令和5年度の結果が出てくると思う。中間報告としてどのような状況になるか伺いたい。

【事務局】

コロナが5類移行に伴う活動増加、7、8月の酷暑に伴うエアコン稼働の増加、ロシア・ウクライナの情勢の影響に伴うエネルギー需要の逼迫など排出量の増加につながる要因が、多く発生している。それを踏まえた上で、引き続き対策してきたいと思う。